

パイプオルガン演奏会 ～17世紀にタイムスリップ～



Tomeu Segui

■演奏：トメウ・セギ氏

スペイン メノルカ島のオルガニスト・チェンバリスト
各国国際音楽フェスティバルにおける古典音楽エキスパート

■演奏曲目

J.C. ケルル／パッサカリア ニ短調
G. ベーム／天にまします我らの父よ
G.F. ヘンデル／オルガン協奏曲 ヘ長調 Op.4-5
J.S. バッハ／いざ来たれ、異教徒の救い主よ BWV 659 他

※ 曲目は都合により変更することがあります。

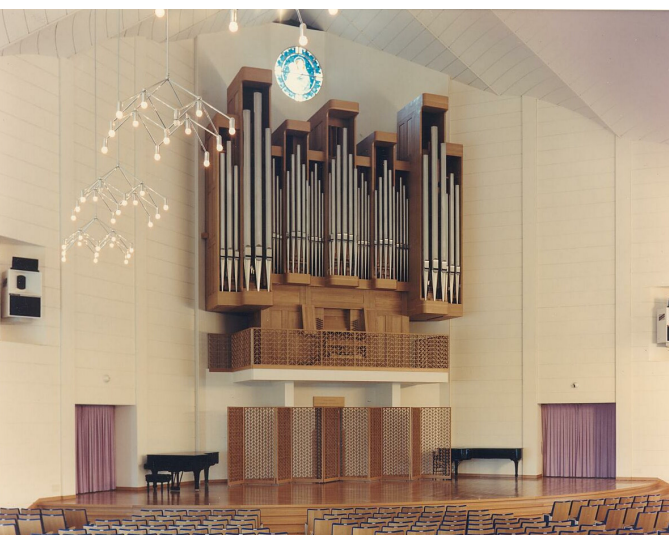
■日時：2023/10/29（日）

14:00 開演（13:00 開場）

■場所：聖カタリナホール

（聖カタリナ大学北条キャンパス内）

■入場無料（未就学児入場可） 事前申込不要



「公開オルガン体験会Ⅹ ～パイプオルガンを弾いてみよう～」のご案内

毎回大好評の企画、管藤泉先生によるオルガン体験会を、今年度は前日28日夕方と29日演奏会終了後に実施いたします。

体験を希望される方は、詳細をホームページ「公開オルガン体験会参加申込要領」でご覧のうえ、「参加申込書」をメールに添付してお申し込みください。

（希望者多数の場合は抽選とさせていただきます、また日程調整にご協力ください）。

体験会見学をご希望の方は、どなたでも座席からどうぞ。

- 基本的な感染予防対策に留意し、開催日時時点で自治体の方針をもとに本学が実施する感染対策へのご理解ご協力をお願いします。
- 諸事情によりやむを得ず中止や変更をさせていただく場合はホームページでお知らせしますので、最新情報をご確認のうえご来場ください。
- 当日は駐車場を準備いたしておりますが、可能な場合は公共交通機関をご利用いただき、余裕をもってお越しください。
- お電話でのご連絡は 8:30～17:00 の間をお願いいたします。（土・日・祝日を除く）

■主催：聖カタリナ大学・同短期大学部

■後援：愛媛県教育委員会

松山市教育委員会

愛媛新聞社

■問合せ先：聖カタリナ大学 総務課

TEL 089-993-0702

E-mail : organ@catherine.ac.jp

詳細は大学ウェブサイトをご覧ください。



■演奏者プロフィール

トメウ・セギ (Tomeu Segui)

スペインはもとより、スイス、イタリアやフランスなどでの国際フェスティバルに参加、TV出演や録音など広い活動を続ける古典音楽のエキスパート。

2004年にサラゴサ音楽院のオルガン教授資格を優秀な成績で習得、2009年から1年間イタリアミラノのクラウディオ・アバド市立音楽学校の古典音楽部門においてオルガンをロレンツォ・ギエルミ氏に及びマウリツィオ・クロチ氏にチェンバロを師事。

2011年から2年間マウリツィオ・クロチ氏のもとでスイスローザンヌの高等音楽院でオルガン演奏家としての研修を重ねる。また、ミヒャエル・ラドレスク氏、ピーター・ヴァンディック氏、フェルディナンド・タリアビーニ氏、アンドレア・セア氏など著名な音楽家らのマスタークラスに参加。2011年から2013年まではスイスのシヴィリス村の教会、またコルドゥール教会(フリーブルク)での古典オルガンのオルガニストを務めた。

マヨルカ島に戻りエスコルカのユック修道院少年合唱団のオルガニストを務めた後、フェスティバル“スティルス・ファンタスティクス”、“カイマリ国際古典音楽祭”、“インカバロック音楽フェスティバル”や“マナコル古典音楽祭”など様々な国際フェスティバルやアカデミーを設立。現在もマヨルカ島の優れた古典オルガンの保護や古典音楽文化を広め、精力的に企画や指導、また演奏活動に携わっている。

■公開オルガン体験会指導者プロフィール

管藤 泉 (Izumi Kando)

大阪音楽大学オルガン科卒業後、フランスリヨン国立高等音楽院でオルガン科ディプロマを習得。その後スペイン政府給費留学生として、スペイン・ポルトガルオルガン音楽研究のためバルセロナリセウ音楽院で研鑽。

現在スペインを中心にヨーロッパ各地で演奏会を行い、映画音楽やバレエ音楽などの作曲、TVやラジオ、およびCD収録なども手掛けている。また、この数年オルガンとカタロニア民族楽器テノラとのユニークな共演が絶賛され数々の演奏会に招待されている。2023年にはスペインアストリアス地方の夏期講習会オルガン講師。

1992年よりバルセロナドイツター派教会の専属オルガニスト、及び2019年よりティアナのカトリック聖セブリア教会のオルガニストも務める。同教会においてオルガンコンサートシリーズを主催。

聖カタリナ大学祭パイプオルガン演奏会では、2013年・2022年に演奏者として、また2013年より公開オルガン体験会指導者として参画し、2014年から毎年のコラボレーションで世界の優れたオルガニストたちを招待している。

■聖カタリナホールとパイプオルガンについて

聖カタリナホール

1979(昭和54)年11月完成。

鉄筋コンクリート及び鉄骨構造、地上2階。銅板大和葺。

座席数1200。平均残響2.4秒。設計・施工は竹中工務店。

パイプオルガン

1981(昭和56)年12月、聖カタリナホールにパイプオルガン完工。設計は須藤宏氏。製作・組み立ては須藤オルガン工房。

パイプ数 2591本、ストップ 38、3段の手鍵盤とペダル鍵盤。フランス様式。1800年代のフランスのオルガン製作者カヴァイエ・コルの様式を手本にしたもの。須藤オルガン工房第3作。

製作に3年、聖カタリナホールでの設置に5ヶ月を要した。

現在もなお、西日本屈指、四国最大規模のオルガンである。

本学のパイプオルガンは、2001(平成13)年3月24日の芸予地震の際に、パイプ脱落という大きな被害を受けましたが、多くの音楽愛好家や地域の方々からのご寄付とご協力により、翌2002年に修復されました。

その後、感謝の気持ちを込めて、年齢を問わず広く地域の皆様にオルガンの音色を楽しんでいただこうと、毎年大学祭のイベントとして無料の演奏会を企画しております。

また、本学には保育学科があります。幼児教育の学科がある大学として、小さな子どもたちに、音楽を通して豊かな心情を育てていただきたいとの思いもこの演奏会に込め、未就学児の入場を可としております(なお、お子様が静かに聴けない状態のときには、こちらから声をかけさせていただく場合もございますので、予めご了承ください)。



■JR

松山駅—伊予北条駅 約25分(特急 約12分)

今治駅—伊予北条駅 約40分(特急 約25分)

伊予北条駅—聖カタリナ大学 徒歩 約12分

■自動車

松山市中心より 約30分

今治市内より 約40分

■伊予鉄バス

松山市駅—辻町 約45分

辻町—聖カタリナ大学 徒歩約15分

当日は駐車場を準備いたしておりますが、可能な場合は公共交通機関をご利用いただき、余裕をもってお越しください。

■大学祭「息吹～新たな風、私たちの大学祭～」

10月28日(土) 北条キャンパス

10月29日(日) 北条キャンパス

松山市駅キャンパス(看護学科)

それぞれ一般公開いたします。

ぜひご来場ください。

